

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

東戸塚地域ケアプラザの担当エリアは、「川上地区（前田町・秋葉町）」と、「東戸塚地区（品濃町・川上町・上品濃）」になります。「東戸塚地区」では、戸建住宅やマンションが開発された地域と併せて大規模県営住宅が広がっている地域と、東戸塚駅周辺にマンション群が広がり、近年はさらに高層マンションが林立し急激な人口増加にある「駅周辺エリア」が混在します。それぞれの地域の現状と課題は次のとおりです。

（川上地区）

- \*一部地域では高齢化が進んでいますが、地域の結束力は強く一人暮らし高齢者等のたすけあい活動も活発に行われています。
- \*地形的に坂道が多いため、バス路線から離れた地域の高齢者には移動のための交通手段が課題となっています。また、公共施設が少なく、地域活動は小学校、コミュニティハウスや自治会町内会館を利用しています。
- \*地区社会福祉協議会が（以下、地区社協）が組織として機能しています。情報の収集発信及び活動団体の取りまとめ役を果たすなど、中間支援組織として一定の役割を担っています。

（東戸塚地区）

- \*高齢化が進んでおり、特に県営住宅では、一人暮らし世帯の増加と高齢化が著しく進んでいます。
- \*自治会町内会は組織されているものの、連合未加入のマンションもあり地区社協などの地域活動の推進が難しい地域です。しかし、自治会町内会は、住民同士のまとまりが強い地域です。

（東戸塚地区～駅周辺エリア）

- \*新しいまちのため、自治会町内会組織率や加入率が低く、地域のコミュニティづくりが課題となっています。
- \*一部の自治会では、助け合い活動などが行われているマンションもあります。防災の取組からケアプラザとのつながりが芽生えてきています。
- \*企業・店舗が多く、地域とのネットワーク「絆の会」を組織しており、地域貢献に参加する意識・土壌はあると認識しています。

#### (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

相談窓口を当番制とし、“受けとめ、寄り添う”意識を持って相談者に対応しました。介護事業所を対象に行った研修では、地域活動ホームひかりの職員と協働し、権利擁護について障害の視点で講話してもらうなど、地域包括支援センターとして近隣の支援機関の皆さんとともにスキルアップ及び連携を意識しながら実施しました。

### (3) 各事業の連携

毎月開催している5職種会議では、モデルエリアを設定し地域資源の現状・情報の可視化（マップ化）をする作業を各職種の視点を踏まえ進めました。なお、5職種会議には、当プラザ職員だけでなく、市社協及び区社協職員の参加も得るなど、スケールメリットを活かし、課題解決に向けた取り組みを進めました。

### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人の人材計画に基づき、内部・外部研修を積極的に受講し、また参加した職員からの報告（伝達研修）により内容を共有しました。職員全体研修では、個人情報保護法の改正内容とともに、情報の取扱いについて確認しました。また人権研修では、障害施設の職員を招き権利擁護についての研修を行い、支援者としてのスキルアップを図りました。

### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

各地区の民児協・社協、またボランティア連絡会等の定例会に参加し、情報の共有及び発信をしました。様々な事例をふまえ、個別課題を地域課題として捉えるよう働きかけました。川上第一団地での「移動販売」や「送迎バス」の実施については区社協との協働事業として、店舗及び病院の協力を得て実施しました。

### (6) 区行政との協働

とつかハートプランは、それぞれ（東戸塚・川上地区）支援チームの関わり方が異なりますが、区とともに住民主体で進めました。東戸塚地区はほぼ毎月推進委員会を実施し進捗の確認及び情報交換を行い、川上地区は推進委員会として開催はしていないものの、地区社協が主体となり活動の報告・進捗確認を行い、当プラザ職員も参加しました。また、区職員を交えたカンファレンスを毎月実施し、情報の共有とともに課題解決に取り組みました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

1. 地域のボランティアの参加や近隣施設、地域住民の協力を得ることで、地域が必要とする高齢・子育て・障がいの3分野の事業を検討、実施することができました。
2. 事業終了後等に参加された方の反応や言葉から、事業課題や地域ニーズの把握に努めました。また、事業終了後、ボランティアとの打ち合わせなどを通じて、事業をより良いものにしていくように努めました。
3. 地域包括支援センター、生活支援センターや認知症キャラバンメイトと連携し、小中学校での福祉教育やマンション自治会などで出前講座を行いました。
4. 地域包括支援センターや生活支援体制整備事業、居宅介護支援事業所、デイサービスと連携し、自治会や老人会、地域活動交流事業内で出前講座として開催しました。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 貸館利用をされている団体からの意見や職員の業務改善の視点をふまえて、貸館利用の手順を随時確認、情報共有に努めました。
2. 貸館利用団体交流会や貸館利用申込時、利用状況などを踏まえた説明を心がけました。
3. 事業終了後のアンケートや利用者アンケート等を通じて、各部門会議や職員会議で課題の確認や共有、解決について話し合いました。調理室と多目的室の間のパーティション工事を行うなど修繕し、どなたでも利用しやすい施設になるよう努めました。

#### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティア団体（配食・傾聴・男性ボランティアグループなど）の定例会や各活動へ月1回以上参加し、地域包括支援センターと協力しながら、活動への提案や情報交換を行いました。
2. ボランティア連絡会で、ケアプラザ内外で活動中のメンバーを対象にローリングストックの活用方法と情報交換を開催しました。
3. ボランティア同士の交流などを目的としたボランティアのつどいを1月14日に実施しました。ケアプラザ全体の事業として位置づけ、5部門から担当を出しました。様々な形で関わってくださるボランティア同士の交流が深まるように携わり、これからも元気にボランティア活動を続けることができるような内容で実施しました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 広報紙を年8回（毎回2500部）発行し、連合自治会や関係機関、サービス利用者を中心に配布しました。  
地域住民の視点を取り入れた紙面づくりのため、地域のボランティア参加による「さんぽみち編集委員会」を定期的に開催しました。  
連合自治会町内会への回覧依頼だけでなく、連合未加入や自治会未組織の地域にはマンションの管理組合に個別に回覧の依頼をするなどの工夫をしています。
2. 貸館利用団体交流会（12月10日）を開催し、情報や活動内容の共有などを行いました。また、日頃使用する部屋を利用者の協力を得て清掃および点検することで地域の拠点であるという意識が高まりました。
3. 貸館利用団体交流会では、団体同士がそれぞれの活動を知る機会にもなり、デイサービスへの参加等、各種事業への協力等に繋げることができました。
4. ボランティア連絡会において、各団体の情報共有に取り組みました。また、ボランティア連絡会から発信し、ローリングストックの活用方法について学習しました。
5. 子育て支援連絡会においては、情報交換の場を設け、地域の子育て情報について共有しました。東戸塚地域ならではの取組みとして、東戸塚VERYの会を毎月開催し、子育て支援連絡会のメンバーの協力を得て、事業を毎月1回開催しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

1. 地域包括支援センター一部門・地域活動交流部門と連携し、それぞれが把握している地域情報を5職種会議や区カンファレンス等の場を活用して共有を図りました。また、それぞれの部門で役割を分担し協力して事業を進めていけました。
2. 5職種会議等では区役所や区社協も加わっての地域活動情報分析及び個別ケースの情報分析、情報交換をすることが出来ました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地域包括支援センター部門と連携し、個別ケース相談対応から見える高齢者の生活課題やニーズ把握を行いました。
2. 単位町内会、自治会や老人会、サロン等において地域住民と共に生活支援ニーズの把握及び資源の把握をし支援に繋がりました。
3. 自治会町内会や地域包括支援センター部門・地域交流部門・居宅介護支援部門・通所介護部門の各利用者を対象にアンケート調査を地域住民と共に実施。地域住民の生活課題やニーズ把握を行うと共にボランティアの確保が出来ました。

## (3) 連携・協議の場

「東戸塚駅周辺地域における認知症高齢者などの見守り・支えあいについて」をテーマに協議体を開催。東戸塚駅周辺の企業等が集う「絆の会」に参加し地域ケアプラザの役割等をアピールしたところ、協議体へのメンバーとして6社の民間企業参加に繋がった。新たなネットワークの構築となった。

## (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 民生委員の声を基に大型マンション内の新規サロンの立ち上げ・運営を実現。自治会との話し合い参加、情報提供や出前講座の開催等支援を行った。
  2. 公営団地におけるサロン立ち上げや移動販売、病院への送迎（病院所有の移動バス運行）等、地域住民及び民間企業・病院との調整を区社協と進められた。
- 今年度の事例を基に今後も新規・大型マンションとの関係づくりやニーズ把握、区社協等と共に課題解決に取り組んでいく。

# 4 地域包括支援センター運営事業

## (1) 総合相談支援業務

### ① 地域におけるネットワークの構築

1. 地区民児協定例会や地域密着型事業所の運営推進会議等に参加し、周知や連携に努めます。
2. 毎月地域活動交流、区社協を交えた定例会にて情報を共有し、地域の課題に取り組めます。
3. 毎月区役所地区担当とのカンファレンスにて情報を共有し、ケースに対応します。

### ② 実態把握

1. 民生委員定例会やサロンなど地域の集まりに参加し、個別相談や地域課題の把握に努めます。
2. 地域別に相談の傾向を把握します。

### ③ 総合相談支援

1. 相談者をお待たせしないスムーズな相談体制を継続するために、相談窓口を決めて対応します。
2. 高齢者だけでなく、子ども・障がい分野の相談についても生活支援体制整備事業や地域交流部門と連携を取り、身近な相談窓口として協力支援します。特に高齢の親と障がい児の世帯等には、区役所・生活支援センター・地域活動ホームひかりなど関連機関と連携し、包括的に支援します。また東戸塚駅前、近隣企業からの相談についても連携しながら対応します。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 近隣5包括（名瀬・上矢部・平戸・南戸塚・東戸塚）合同で成年後見制度啓発講座「ふくしものしり大学」を実施します。
2. 消費者被害防止のため、地域住民向けに消費者被害普及啓発講座を実施します。

### ② 高齢者虐待への対応

1. ケアマネジャーや地域から寄せられる相談から虐待の早期発見に努め、区役所やサービス事業所と連携してチームで対応します。
2. 介護者の精神的負担の軽減と、介護者自身のエンパワメントを目的に、介護者のつどいを開催します。”

### ③ 認知症

1. 地域の集まりに出向いて、認知症サポーター養成講座を行います。
2. サロンなど地域の集まりに出席した際には、認知症の初期症状についての普及啓発に努めます。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

所内及び5職種で情報を共有のうえ、地域活動等に参加し、ニーズや課題に応じた情報発信や活動支援を行ないました。

### ② 医療・介護の連携推進支援

1. 区域の包括主任ケアマネジャーと連携し、各連絡会に参加・支援を行いました。また、エリア内の医療機関へ郵送及び訪問し広報紙によるケアプラザの周知や個別の相談等で行う連携が、よりよい支援につながっています。
2. 区内で活動するケアマネジャーを対象に医療と介護の連携推進を目的に研修を実施しました。(H29.11月)

### ③ ケアマネジャー支援

1. 区域の包括主任ケアマネジャーと連携しケアマネット戸塚の定例会・研修会にてニーズ把握や開催支援・個別ケースの相談に対応しよりよい連携推進に努めました。
2. 区域の包括主任ケアマネジャーと連携し居宅介護支援事業所に所属する主任ケアマネジャーの協力を得て新任ケアマネジャー研修を実施しました。(平成29年7月) また、区内の居宅介護支援事業所に所属する主任ケアマネジャーを対象に研修を実施しました。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別ケースレベル(1回)・地域ケアプラザレベル(2回)の地域ケア会議を行いました。地域ケアプラザレベルの会議では地域性として地域住民以外にも地域で働く人の協力を得られることが強みであることを共有し、商業施設や金融機関等にも呼びかけ、情報発信・共有を行いました。

### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

#### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- ・地域でおこなわれている、サロンや昼食会、老人会に5職種が当番制で関わり、積極的に住民主体の活動を支援するとともに、情報収集と共有を行いました。
- ・地域で得たインフォーマル情報とともに、CPで開催されている介護予防に資する活動等CP主催のCMサロンなどで告知や資料の配布を行いました。また昨年配布した、エリア内インフォーマル情報も更新を行います。
- ・CMと民生委員が顔の見える関係性が取れるよう、勉強会の開催を行いました。
- ・毎月事業所訪問を行い、相談しやすい環境づくりを目指し、一緒に個別ケースにも対応を行うとともに、必要に応じたアドバイスを行いました。

### (6) 一般介護予防事業

#### 一般介護予防事業

- ・GOG健康講座を、地域の虚弱な方でも集まりやすい地域会場を利用し、1月末から2コース開催を予定しています。
- ・元気づくりステーションを含む、地域で介護予防に資するグループの後方支援として、活動に対する助言を行うとともに、参加者の参加意欲向上できるよう支援しました。
- ・総合相談上で介護予防に関する相談に対応し、地域で行われている介護予防活動グループの広報を行い、住民が介護予防の取り組みが行いやすいよう支援しました。

## 5 その他

## 6 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

昨年度の修繕実施は11件（H27年度は15件）でした。開所して23年を経過し、各設備・備品も老朽化していますが、丁寧な使用を心掛けています。区役所と十分な連携を図りながら、利用者に対してはなるべくご不便をお掛けしないように努めました。

また、大型の保守契約等については、委託業者を選出する際に入札等適切な方法を用い、質の確保と経費削減を行いました。

- ・ 冷温水機内部ガス抑制剤投入
- ・ 調理場給湯器点検・修理
- ・ 交流棟ブラインド取り付け工事
- ・ 施設内区画線補修工事
- ・ 施設内車止め及び排ガス漏れ修理
- ・ デイルーム内音響機器修理
- ・ デイルーム調理室殺菌灯修理
- ・ 交流棟パーティション取り付け工事
- ・ 事務所内電気温水器及び水栓金具交換
- ・ 地域交流棟男子トイレ小便器修理
- ・ デイルーム調理室水道工事

### (2) 効率的な運営への取組について

それぞれ月1回の5職種会議や定例会議の他、日常業務の中でも各部門間で積極的にコミュニケーションを図り、地域住民の課題を共有すると同時に、地域の関係機関・団体との役割分担や協働を図り事業に取り組みました。また、適正な運営を行うため、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、経費の削減、資源の有効活用を心掛けました。

人員についても業務量と具体的業務手順を定期的に見直し、適正な配置を行いました。

### (3) 苦情受付体制について

平成28年度の苦情件数は0件でした。

本会には「横浜市社協・苦情解決規則」並びに「横浜市社協・苦情解決規則に基づく苦情相談対応マニュアル」に沿い苦情受付を行う体制があります。

（受付担当者→実務責任者→所管部長→苦情解決推進チーム→総括責任者の流れで苦情解決にあたります。）

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

万一の有事の際には、法人で作成した事故・災害マニュアル等に基づき、迅速に対応ができるよう備えました。その他、応急備蓄物品の整備に加え、地震等の災害時に速やかに駆けつけられることを目指した配属後の参集訓練実施、災害時の要援護者の安否確認用の緊急連絡先一覧の整備、災害時に繋がりやすいPHSの導入等により体制強化に努めました。

なお、3施設（地区センター・療育センター・本プラザ）合同防災訓練を2回（9月、3月）、プラザ単独での避難訓練を1回（3月）実施しました。

(5) 事故防止への取組について

事故や急病に対して、毎月の施設内の会議において他の法人運営施設の事件事例やヒヤリハット事例の情報を共有してリスクの分析・評価と事故防止策や急病等突然の対応が必要な際の対応について、確認・検討を行いました。

また日常業務の中での気づきを促すべく、積極的にヒヤリハット報告を挙げる仕組みが定着してきており、平成29年度は165件（昨年度は163件）となっています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報保護に関する条例」並びに「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報保護に努めました。

- 1 個人情報が含まれるケースファイル・データ保存の媒体等は施錠管理を徹底し、必要時以外の外部への資料の持ち出し、机上放置をしないように努めました。契約書・重要事項説明書・フェイスシート・アセスメント表・介護保険申請書等の書類は、外部持ち出しが必要な際、携行にあたっては、訪問先から直帰しない・自転車の荷物カゴに入れる際は盗難防止カバーをかぶせる等の基本的注意を常に怠らない配慮に努めました。
- 2 パソコンはパスワード設定を行い、起動時やスクリーンセーバーからの復帰の際は、パスワードを入力しないと使用できないように設定していました。
- 3 守秘義務については、明文化したものを全職員はもとより、ボランティア・実習生等事業に携わる者に説明のうえ対応しました。

(7) 情報公開への取組について

- 1 情報公開に対する請求は0件でした。情報公開について請求があった場合には、法人の「保有する情報の公開に関する規程」に基づいて対応しています。
- 2 その他、運営協議会や本会ホームページにおいて事業内容等を公表しました。
- 3 介護保険事業については「介護サービス情報の公表制度」において運営状況を公開しました。

(8) 人権啓発への取組について

法人で開催する人権啓発研修に管理職が出席し、受講後は、職員全体会議（非常勤職員も参加）において伝達研修を実施しました。また、非常勤も含む全職員に対して、講師（障害者施設職員）による講話及びワークショップを行い、人権尊重に係る意識の向上に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- 1 ごみの少量化（ヨコハマ3R夢プラン）、資源の有効活用、地球温暖化対応など全職員で、環境配慮に取り組みました。
- 2 コピーや印刷は裏紙で済むものは積極的に裏紙を利用し、コピー用紙についてはリサイクル用紙を購入しました。
- 3 空調温度の基本設定を夏は28℃、冬は19℃としました。（施設利用者や来館者の年齢や体調等に合わせて、臨機応変に温度設定を調整しました。）

- 4 使用頻度の多い通所介護の浴室シャワーと、浴室及び厨房のカランに設置した水道節水装置を有効利用するなど使用量の節減に努めました。
- 5 職員の外出時は自動車の利用は極力避け、徒歩や自転車、公共交通機関を利用して化石燃料の節約に努めました。
- 6 業務委託における指名競争入札において業者指名にあたり、市内の中小企業を優先して指名しました。

## 【介護保険事業】

### ●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）
- 保健師等 1名（常勤兼務/介護予防支援事業管理者）
- 社会福祉士 2名（常勤兼務）
- 社会福祉士 2名（非常勤）

#### 《目標に対する成果等》

法令を遵守し、ご本人とご家族が住みなれた地域で安心して自立した生活ができるように支援を行いました。当ケアプラザ内をはじめ、地域で実施されるインフォーマルサービスを取り入れ、常に利用者本位を根底においた介護予防プラン作成を行い、心身の状態が維持できるようにしていきました。

必要に応じて適宜、介護保険制度等の最新情報をご本人やご家族に提供していきました。

地域支援事業への円滑な移行へ向け、情報収集を行い、利用者への説明・意識づけ、事業者との調整に取り組みました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防の部門会議を定期的で開催し、情報共有、ケース検討、内部研修によるケアマネジメント力の向上に取り組みました。また、担当者が不在時でもご利用者への対応が迅速かつ円滑に行えるよう、部門内の情報共有を徹底しました。処遇困難ケース等は随時担当者等で話し合いを持ちながら組織的に対応を行い、迅速な対応を心がけました。

研修に参加しやすい協力体制を維持し、外部研修にも積極的に参加し、個人のスキルアップを図るとともに、伝達研修も行い互いのスキルアップを心がけました。

委託先のケアマネジャーとの顔の見える関係作りを心がけ、相談しやすい雰囲気作りを行い、ケアマネジャーの適切な介護予防プランの作成に繋がるよう支援していきました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
265	259	267	263	262	263
10月	11月	12月	1月	2月	3月
262	261	269	276	271	279

●居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤1名、非常勤4名

《目標》

地域に根ざした居宅介護支援をめざし、ご利用者、ご家族と共に考え対話を大切に、住み慣れた地域で安心して在宅生活が送れるようケアプラン作成を行ってきました。法令を遵守し、誠実な業務を行い、安定した経営を目指し業務にあたりました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラザの居宅介護支援という利点を活かし、地域包括支援センター、通所介護、地域活動交流部門、生活支援体制整備部門との積極的な連携をはかりました。また、「地域ケアプラザ祭り」や「ボランティアの集い」など、5部門が連携して実施しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
139.5	142	141	141.5	148	139
10月	11月	12月	1月	2月	3月
142	144.5	153	147	146.5	142.5

## ● 通所介護

### 《提供するサービス内容》

- 生活指導(相談援助等) ●機能訓練(日常動作訓練) ●介護サービス
- 健康状態の確認 ●送迎 ●給食 ●入浴 ●個別機能訓練

### 《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

#### ● 1割負担分

(要介護1)	614円
(要介護2)	725円
(要介護3)	837円
(要介護4)	948円
(要介護5)	1060円

●入浴加算 54円

●体制強化加算Ⅰイ 20円

●個別機能訓練加算Ⅱ 60円

●食費負担 764円

#### ● 2割負担分

(要介護1)	1227円
(要介護2)	1450円
(要介護3)	1673円
(要介護4)	1896円
(要介護5)	2119円

●食費負担 764円

●入浴加算 108円

●体制強化加算Ⅰイ 39円

●個別機能訓練加算Ⅱ 120円

●介護職員処遇改善加算Ⅰ 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算  
《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15~15:20

### 《職員体制》

生活相談員7名/介助員16名/看護師4名(機能訓練指導員を兼ねる)/運転員4名

### 《目標》

利用されるおひとりおひとりの生き方を大切に、ご意向や状況をしっかり汲み取れるよう、課題分析をしっかりと行い、通所介護計画書に反映させていきました。

ご家族が介護疲れや介助方法などについて、安心して気軽に相談ができるような関係作りを目指しました。

地域の中で信頼され、親しみをもって頂けるデイサービスを目指し、ケアプラザまつりやボランティアのつどいなどの事業に積極的に参加しました。また地域の自治会館等へ出向き老人会等に参加していきました。

職員ひとりひとりが、専門職としての知識や技術を向上できるように、法人全体の研修システムを利用し研修を実施しました。

### 《その他(特徴的な取組、PR等)》

レクリエーションの中にも、生活リハビリ・遊んだりテーションを導入し、グループや集団で楽しみながらできる機能向上訓練を実施しました。また、希望者には個別機能訓練を計画的に実施しました。また、毎回フットケアを実施し、下肢の観察及び血行促進を図りました。

音楽療法やアロマハンドマッサージ等を実施し魅力あるプログラムを提供しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
580	612	513	553	595	566
10月	11月	12月	1月	2月	3月
597	598	545	556	572	618

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導(相談援助等)
- 運動器機能向上訓練
- 健康状態の確認
- 送迎
- 給食
- 入浴

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

- 1割負担分
  - (要支援1) 1766円
  - (要支援2) 3621円
- 体制強化加算Iイ(要支援1)78円 / (要支援2)155円
- 介護職員処遇改善加算I 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算
- 運動器機能向上加算 242円
- 食費 764円
- 2割負担
  - (要支援1) 3531円
  - (1)(要支援2)週1回利用 3531円
  - (2)(要支援2)週2回利用 7241円
- 体制強化加算Iイ(要支援1)155円 / (1)(要支援2)155円  
(2)(要支援2)309円
  
- 介護職員処遇改善加算I 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算
- 運動器機能向上加算 483円
- 食費 764円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》生活相談員6名/介助員16名/看護師4(機能訓練指導員を兼ねる)/運転員4名

《目標》利用されるおひとりおひとりの生き方を大切に、ご意向や状況をしっかり汲み取れるよう、課題分析をしっかりと行い、通所介護計画書に反映させていきました。

ご家族が介護疲れや介助方法などについて、安心して気軽に相談ができるような関係作りを目指しました。

地域の中で信頼され、親しみをもって頂けるデイサービスを目指し、ケアプラザまつりやボランティアのつどいなどの事業に積極的に参加しました。また地域の自治会館等へ出向き老人会等に参加しました。

職員ひとりひとりが、専門職としての知識や技術を向上できるよう、法人全体の研修システムを利用し研修を実施しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

レクリエーションの中にも、生活リハビリ・遊بریテーションを導入し、グループや集団で楽しみながらできる機能向上訓練を実施しました。また、希望者には運動器機能向上訓練を計画的に実施しました。また、毎回フットケアを実施し、下肢の観察及び血行促進を図りました。

音楽療法やアロマハンドマッサージ等を実施し魅力あるプログラムを提供しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
33	33	35	32	34	38
10月	11月	12月	1月	2月	3月
33	31	32	31	32	31

平成28年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,499,380	1,071,800	17,571,180	17,571,180	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	276,900	276,900	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	1,600	1,600	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	1,600	1,600	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	47,000		47,000	47,000	0	
収入合計	18,523,880	1,071,800	19,595,680	19,874,180	278,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,586,000	0	11,586,000	10,394,556	1,191,444	
本俸	8,396,000		8,396,000	7,545,552	850,448	
社会保険料	705,000		705,000	534,579	170,421	
手当計	2,288,000		2,288,000	2,228,860	59,140	
健康診断費	1,000		1,000	7,427	6,427	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,250	750	ハイクレイト
退職給付引当金繰入額	189,000		189,000	71,888	117,112	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,975,000	0	1,975,000	1,948,054	26,946	
旅費	28,000		28,000	27,856	144	職員交通費
消耗品費	280,000		280,000	235,421	44,579	交流棟/館内消耗品、封筒、コピー用紙、トイレットペーパー等
会議開催費	5,000		5,000	0	5,000	会議費
印刷製本費	150,000		150,000	141,176	8,824	広報紙印刷代、領収書
通信費	150,000		150,000	250,582	100,582	電話料金、携帯、郵券、後納郵便、はがき、フレックス光
使用料及び賃借料	0	0	0	7,120	7,120	
横浜市への支払分	0		0	0	0	なし
その他	0		0	7,120	7,120	ケアプラザ祭り駐車場代、地区センター室代
備品購入費	350,000		350,000	297,598	52,402	なし
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	なし
施設賠償責任保険	12,000		12,000	6,937	5,063	施設賠償責任保険
職員等研修費	10,000		10,000	7,560	2,440	シナプソロジー研修受講代
振込手数料	1,080		1,080	216	864	研修受講料振込手数料
リース料	108,000		108,000	107,280	720	AED、複合機、デイス車両
手数料	920		920	648	272	残高証明発行手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	870,000		870,000	865,660	4,340	会費、インフルエンザ補助金、渉外費、租税、法人共通経費等
事業費	596,000	0	596,000	703,219	138,285	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,934	31,066	予算:指定額
指定管理料充当 事業	554,000		554,000	692,285	138,285	
管理費	4,903,458	1,852,476	4,903,458	6,328,518	2,455	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	2,238,203	0	2,238,203	1,813,242	424,961	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	796,500		796,500	796,369	131	
修繕費	474,000	1,852,476	2,326,476	2,434,665	108,189	予算:指定額
機械整備費	5,205		5,205	5,205	0	
設備保全費	996,850	0	996,850	260,750	736,100	
空調衛生設備保守	817,800		817,800	81,712	736,088	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	179,050		179,050	179,038	12	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	392,700		392,700	1,018,287	625,587	
公租公課	926,880	0	926,880	831,564	95,316	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	926,880		926,880	831,564	95,316	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二スズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,987,338	1,852,476	19,987,338	20,205,911	1,177,876	
差引	1,463,458	780,676	391,658	331,731	1,456,376	

自主事業費収入	554,000		554,000	0	554,000	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	554,000		554,000	692,285	138,285	
自主事業収支	0	0	0	692,285	692,285	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,833,000	126,000	28,707,000	28,707,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	3,244,617	9,033,617	9,033,617	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	17,000	17,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	17,000	17,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,517,000		1,517,000	1,517,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>36,290,000</b>	<b>3,118,617</b>	<b>39,408,617</b>	<b>39,425,617</b>	<b>17,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>32,689,000</b>	<b>0</b>	<b>32,689,000</b>	<b>33,402,014</b>	<b>713,014</b>	
本俸	16,100,000		16,100,000	17,355,000	1,255,000	
社会保険料	4,172,000		4,172,000	4,359,062	187,062	
手当計	10,740,000		10,740,000	10,649,054	90,946	
健康診断費	96,000		96,000	53,676	42,324	
勤労者福祉共済掛金	33,000		33,000	32,250	750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,548,000		1,548,000	952,972	595,028	
その他	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>1,495,000</b>	<b>0</b>	<b>1,495,000</b>	<b>1,475,687</b>	<b>19,313</b>	
旅費	70,000		70,000	46,734	23,266	職員交通費
消耗品費	150,000		150,000	148,851	1,149	トレットペーパー、コピー用紙、館内消耗品、封筒
会議滞在費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	0		0	0	0	なし
通信費	281,205		281,205	281,205	0	電話料金、携帯電話代、郵券、後納郵便、フレック
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	なし
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	33,650		33,650	33,048	602	訪問用自転車バッテリー
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	1,845		1,845	1,845	0	なし
職員等研修費	27,000		27,000	16,000	11,000	介護支援専門員更新研修
振込手数料	0		0	0	0	なし
リース料	75,520		75,520	75,520	0	AED、複合機、デイズ車両
手数料	0		0	0	0	なし
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	855,780		855,780	872,484	16,704	会費、インフルエンザ補助金、デイズ保険料等
<b>事業費</b>	<b>1,190,000</b>	<b>0</b>	<b>1,190,000</b>	<b>854,091</b>	<b>335,909</b>	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	100,000		100,000	51,069	48,931	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	148,022	160,978	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>916,000</b>	<b>0</b>	<b>916,000</b>	<b>1,366,245</b>	<b>368,244</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	400,000	0	400,000	482,001	82,001	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	250,000		250,000	211,692	38,308	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	2,000		2,000	1,383	617	
設備保全費	72,000	0	72,000	69,310	2,690	
空調衛生設備保守	22,000		22,000	21,720	280	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	50,000		50,000	47,590	2,410	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	66,000		66,000	475,859	409,859	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一三対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>36,290,000</b>	<b>0</b>	<b>35,890,000</b>	<b>37,098,037</b>	<b>726,036</b>	
差引	0	3,118,617	3,518,617	2,327,580	709,036	

自主事業費収入	560,000			0		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	560,000			350,091		
自主事業収支	0			350,091		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

# 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 東戸塚地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	15613	21291	77679	0
	その他	6	0	138	0
	介護予防ケアマネジメント 費	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0
	その他	6	0	138	0
<b>収入合計(A)</b>		<b>15619</b>	<b>21291</b>	<b>77817</b>	<b>0</b>
支出	人件費	5486	19715	58844	0
	事務費	20	176	353	0
	事業費	8506	1153	22532	0
	管理費	0	0	0	0
	その他	0	0	45	0
	利用者負担軽減額	0	0	45	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
<b>支出合計(B)</b>		<b>14012</b>	<b>21044</b>	<b>81774</b>	<b>0</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>1607</b>	<b>247</b>	<b>-3957</b>	<b>0</b>

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
お茶のみ会	65歳以上	497,920	地活	275,520	222,400	0	19,000	478,920	0
	1098名		包括	—	—	—	—	—	—
	200円・500円		生活	—	—	—	—	—	—
男の井戸端会議	男性	0	地活	—	—	—	—	—	—
	503名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
東戸塚VERYの会	35歳以上の高齢初産者・高齢出産者	2,355	地活	2,355	0	0	0	2,355	0
	371名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
アミーコ	未就学児親子	32,799	地活	23,799	9,000	0	8,000	21,999	2800
	126名		包括	—	—	—	—	—	—
	500円		生活	—	—	—	—	—	—
夜間飛行	18歳以上の知的障がい者	28,308	地活	6108	22,200	0	2,000	26,308	0
	365名		包括	—	—	—	—	—	—
	100円		生活	—	—	—	—	—	—
ぷち*だかしや楽校	地域住民	72,760	地活	62,960	9,800	0	0	61,560	11,200
	837名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
地域ケアプラザまつり	地域住民	19,500	地活	6,000	13,500	0	0	11,100	8,400
	508名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
貸館団体・説明会	貸館登録団体	23,437	地活	23,437	0	0	0	23,437	0
	46名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
ボランティアのつどい	ボランティア	12,565	地活	12,565	0	0	7,500	5,065	0
	40名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
あったまり場	こころの病いを抱える方	89,300	地活	89,300	0	0	0	89,300	0
	90名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
ボランティア連絡会	東戸塚周辺でボランティア活動をしている方	2,641	地活	2,641	0	0	0	2,641	0
	69名		包括	—	—	—	—	—	—
	—		生活	—	—	—	—	—	—
介護者のつどい	家族等介護中の方	21,187	地活	—	—	—	—	—	—
	70名		包括	0	0	0	0	21,187	0
	—		生活	—	—	—	—	—	—

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
りとりるありんこクラブ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供 1～3歳までのこどもと養育者の育児サークル	月2回 第2・4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しゅっぽっぽ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供 0～2歳までの子どもと養育者の育児サロン	月1回 第4月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いっしょにあそぼ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供 川上保育園の保育士による遊びの場	9月・11月・1月 各第3月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶のみ会	介護予防・外出機会の創出・仲間づくり 茶話会・食事会・季節行事による高齢者の交流会	月2回 第2・4金曜日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男の井戸端会議	介護予防、地域参加へのきっかけづくり、仲間づくり 60歳以上の男性を対象とした交流会	月1回 第2火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀くらぶ ゆうゆう会	介護予防・地域参加へのきっかけづくり、仲間づくり 健康麻雀教室	月3回 第1日曜日 第3金曜日 第4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえ喫茶かがやき	介護予防、外出機会の創出、仲間づくり 地域ボランティアによる歌声喫茶	不定期 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービスりんどう	高齢者の安否確認、食事の提供 一人暮らし高齢者・高齢者夫婦世帯対象の配食サービス	毎週水曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おじさんボランティア 助っ人隊	ボランティアグループ支援、高齢・障害世帯支援 ボランティア需給調整、地域ボランティア定例会への参加、アドバイス	月1回 第3土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夜間飛行	障がい者の余暇活動支援 18歳以上の主に知的障害者を対象とした青年学級、食事や季節の行事を通じてボランティアや仲間同士の交流を図る	月2回 原則第1・3火曜日

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったまり場	精神障害者活動支援 ボランティアと協働して行うこころの病をかかえた方のためのフリースペース	月1回 第4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て教室 アミーコ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供、地域ボランティア等の社会資源の活用 地域ボランティア等による子育て講座	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
会場利用団体交流会	福祉保健活動の推進 ケアプラザに団体登録をして会場利用している団体の交流会	1回 12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚地域ケアプラザまつり	地域への周知・普及啓発、ネットワーク形成 模擬店出店	1回 10月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティアのつどい	ボランティアの交流、スキルアップ 全ボランティアを対象としたスキルアップ講座、交流会	1回 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚地域ボランティア連絡会	ボランティアに関する情報交換 連携強化 課題検討及び解決	奇数月 第2水曜日

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚・川上地区 子育て支援連絡会	子育てに関する情報交換 連携強化 課題検討及び解決	年4回 5月 7月 10月 1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷち*だがしや楽校	地域交流の場 世代間交流	年2回 6・11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚VERYの会	子育てに関する情報交換 母親のための会 ダブルケア、トリプルケアへの取組	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで過ごす夏休み inとつか2017	障害児者余暇支援活動 親のレスパイト	8月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふくしものしり大学	成年後見制度等権利擁護に関する普及啓発 東戸塚駅を最寄駅とする4地域ケアプラザ（東戸塚、名瀬、平戸、上矢部）共催 ボランティア団体による寸劇と行政書士による講演会	年2回 上矢部CP 東戸塚CP

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者支援 介護者の精神的負担の軽減と、介護者自身のエンパワメントを目的としたつどい	年6回、奇数月